

年間授業計画

教科・科目	保健 [1] 単位	対象学年・組	2学年 全クラス
教科書 副教材	現代保健体育 (大修館)	教科担任	柳澤 真宏・後藤 和也・ 平井 史子

学習目標	生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があることを及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。
------	--

学期	月	単元	時間	学習内容	学習上の留意点
1 学期	中間まで	①オリエンテーション ②生涯を通じる健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康	8	・思春期における心身の発達や健康問題について特に性的成熟に伴い、心理面、行動面が変化することについて理解できるようにする。	健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考判断し、適切に対処できるようにする。
	期末まで	・妊娠と・出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶	8	・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康問題について、また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。	健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考判断し、適切に対処できるようにする。
2 学期	中間まで	・加齢と健康 ・高齢者のための社会的取組 ・保険制度とその活用 ・医療制度とその活用 ・医薬品と健康 ・さまざまな保健活動や対策	8	・加齢に伴う心身の変化について、形態面及び機能面から理解できるようにする。	健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考判断し、適切に対処できるようにする。
	期末まで	③社会生活と健康 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策 ・健康被害の防止と環境対策 ・環境衛生活動のしくみと働き	8	・人間の生活や産業活動に伴う大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などは人々の健康に影響を及ぼすことを理解できるようにする。	健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考判断し、適切に対処できるようにする。
3 学期		・食品衛生活動のしくみと働き ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活		・環境と食品の保健にかかわる健康被害の防止と健康の保持増進について理解できるようにする。	健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考判断し、適切に対処できるようにする。

評価の 観点・方法	参加：欠席・遅刻・授業態度をみます。
	活動：実技の実践・実技レポート
	定着：実技テスト
	その他：特になし